

令和8年度 藤井寺市生涯学習審議会図書館部会 会議録

令和8年8月5日(水)

藤井寺市立生涯学習センター 3階 多目的室

会議の名称	令和8年度 藤井寺市生涯学習審議会図書館部会
開催日時	令和8年8月5日(水) 午後2時00分から午後3時00分
開催場所	藤井寺市立生涯学習センター 3階 多目的室
出席者	委員:寺田剛、ウィリアムソンマシュージョン、天野玲子、 細木紀美子、中野康子 事務局:市立図書館長 國頭順子、同主幹 松中義成
欠席者	委員: 好永保宣
会議の議題	1、趣旨説明(第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画策定について) 2、意見交換 3、今後の予定について
会議の成立	委員6名中、過半数(5名)の出席があり、藤井寺市生涯学習審議会規則第3条第2項の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

○司会:

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただ今より令和8年度 藤井寺市生涯学習審議会図書館部会を開催させていただきます。藤井寺市生涯学習審議会と同様に、「藤井寺市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、会議並びに議事録を公開することとしております。議事録の作成に向け、ICレコーダーでの録音を実施させていただきます。議事録につきましては発言者の名前を記載し要点筆記とさせていただきます、録音されました音声等は議事録作成後、すみやかに消去いたしますので、なにとぞよろしくご理解ご了承いただきますようお願いいたします。本日の傍聴希望者数は0人です。

図書館部会の委員の皆様をご紹介します。
藤井寺市ボランティアサークルおはなしころりの細木委員、
第三中学校長の寺田委員、
市立学校園PTA連絡協議会会計監査のウィリアムソンマシュージョン委員、
藤井寺市朗読の会ひびきの天野委員、
公募委員の中野委員、
大阪緑涼高等学校校長の好永委員、好永委員につきましては、日程があわず、本日も欠席でございます。皆様によりしくお伝えくださいとのことでした。

次に事務局として出席しております職員を紹介させていただきます。
図書館長の國頭でございます。松中でございます。よろしくお願い致します。

本日の資料のご確認をお願い致します。

- ①生涯学習審議会図書館部会の次第
- ②第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画策定について(諮問)
- ③統計資料
- ④藤井寺市子どもの読書活動推進計画に関するアンケート(抜粋)

次第以外は郵送にてすでに配布済みの資料ですが、ご持参いただいておりますでしょうか。お手元にない方はお申し出ください。

それでは次第1、今回の図書館部会の趣旨につきまして、館長よりご説明させていただきます。

○國頭館長:

(生涯学習審議会図書館部会の開催趣旨について説明)

○司会:

次に次第の2、意見交換に移りますが、ここからの進行は先程の生涯学習審議会において図書館部会長及び議長を委任されました、細木部会長をお願いしたいと思っております。それでは細木部会長よりお願いいたします。

○細木部会長：

本日の進行を務めさせていただきます細木です、皆様よろしくお願ひいたします。
第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画に関する意見を皆様から頂戴し、今後の方針策定に反映するための会議となります。皆様の貴重なご意見をぜひお聞かせください。

本日の会議では先程ご説明のありました「第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画策定について」の「4の(4)今後の読書活動推進の取組について」ごとに、それぞれの視点からご意見を頂戴したいと考えています。また、藤井寺市子どもの読書活動推進計画に関するアンケートと統計資料へのご意見につきましても、議題ごとにご意見を願ひします。

それでは重点方針1:乳幼児期の保護者や教育・保育施設への読書活動支援について、事務局から説明を願ひします。

○國頭館長：

(「重点方針1:乳幼児期の保護者や教育・保育施設への読書活動支援について」の説明)

○細木部会長：

乳幼児向けの読書支援について、ご意見を伺ひしたいと思います。

○天野委員：

朗読の会ひびきでも、今回初めてブックスタート事業に取り組むことになりました。
大人向けや目の不自由な方向けに本を読んだり、図書館で子ども向けに読み聞かせはしてましたが、4ヶ月の子どもに対しては未知なので、何とかやっていきたいと思っています。
小さい子どもが本を読むことはなかなか難しいと思うのですが、お母さんが本に興味を示してもらえれば、子どもの読書にもつながっていくのではないのでしょうか。

○寺田委員：

4ヶ月の子どもなので、本を読んだことに対して直接どう反応しているのかは未知数の部分はありますが、保護者の方に対してもこういう事業をやっていることは良いことだと思います。本に触れ合う機会の少ない保護者の方にも、本を読む良さっていうものを少しでも知ってもらえたらと思います。ちなみに4ヶ月健診というものは毎月あるものなのでしょうか。

○國頭館長：

4ヶ月を迎えられたタイミングの健診となり、保健センターの方で健診を受け付けています。図書館として4ヶ月健診が良いと思っている点は、図書館に来館されない方に対しても本をお配りすることができ、その場で読み聞かせをするということです。どのように本を読めばいいのかと思われている保護者の方であったり、なかなか本に興味を持ってない保護者の方にも、こんな本があるんだ、こんな風に読みきかせができるんだといった、実際を見

ていただける点が一番良いところだと思っております。ブックリストもお渡しするので、こちらをきっかけに子育ての中にも本を取り入れていただければと考えております。

○細木部会長

お孫さんをもつ世代の方々のご経験では、4ヶ月頃からの読み聞かせはされたことがないのではないのでしょうか。

個人的な活動ですが、お母さんとお子さんに絵本の紹介をしています。ブックスタートでどのような反応があるのか、興味があります。

○細木部会長：

重点方針2:小中学生へ向けた読書活動推進について、事務局から説明をお願いします。

○國頭館長：

(「重点方針2:小中学生へ向けた読書活動推進について」の説明)

○細木部会長：

小中学生へ向けた読書活動推進について、ご意見をお伺いしたいと思います。

中学校には学校司書さんはいらっしゃるって、中学生が読みたいと思うような本を提示していただいているのでしょうか。

○寺田委員：

各中学校によって取り組みは違ってくると思われますが、絵本というより読み物であったりとか、特集をやってみたりとか、作家さんを紹介したり等、興味付けをしながらやっています。また、本の帯を作成して図書館の外に掲示をすることで、子ども達に本に関心を持ってもらうように活動していただいています。

○細木部会長：

自分は何に興味があるのか、中学生も何を読んで良いか分からないと思いますので、学校司書さんには読書の推進をぜひとも進めてもらいたいと思います。

○天野委員：

統計資料についてですが、学校ごとに貸出し冊数に違いがみられますが、これは学校で何か取り組みをやっておられるからなののでしょうか。学校ごとに差があるのは、熱心な学校司書さんや校長先生がいらっしゃるからなののでしょうか。図書館と学校図書館が連携をしていることも初めて知りました。子ども達はみんな知っていることですよね。

○國頭館長：

学校ごとの貸出冊数の差ということですが、学校に加配の先生がついて、読書推進等の活動をしていただいております。図書館であったり、国語の授業であったり等、加配の先生がついてモデル校としてやっている学校は、貸出し冊数が伸びているという部分があります。

○細木部会長：

道明寺小学校は立派な校舎ができて、学校図書館も充実しているので、市立図書館にわざわざ借りなくても自分たちのところにあるというのものもあるかと思います。

○ウィリアムソンマシュージョン委員：

具体的な人数は分かりませんが、児童数の違いもあるのではないのでしょうか。

語り手派遣事業と書いていますが、「おはなしころりん」さんはどのくらいの頻度で活動をされているのでしょうか。

○細木部会長：

おはなしころりんとして現在30名ほどいまして、幼稚園や保育所、小学校等で絵本や素話をやっています。幼稚園や保育所なら月に1回30分くらい。学校は、学校によって違いはありますが、1学期に1回や年に1回行っています。こちらから持って行った本や、学校司書さんが市立図書館から借りてきた本等をみんなで読むように推進してきました。

○寺田委員：

2ページの②には「学年が進むにつれて不読率が上昇している」とあります。社会一般的にはそのように言われていますが、これについて市として何かデータとして示されているものはあるのでしょうか。アンケート中の「4、授業以外で本を読みますか」の問いに、「ほとんど本を読まない」の回答が小学生は20%、中学生は23%となっており、少し上昇しているように思われますが、大幅に上昇しているとまで言えるのかどうか。

○國頭館長：

アンケート中の「1、読書は好きですか」の問いに、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると小学生は66%、中学生は58%と減少している部分もありますし、やはり全国的に不読率が上昇している部分がありますので、上昇と標記させていただきました。

○寺田委員：

「読書が好き」の回答率の減少が、イコール不読率の上昇と言えるのかどうか。

○國頭館長：

そちらの方はもう一度確認をさせていただきます。

○寺田委員：

学校司書の方が全校に1名配置されている、これは全国的にみても入っていない学校がある中で、本市でできているという部分はすごく進んでいると思います。どうしても教員だけだと手が回らない、学校司書の方がいて、そこで見ていただけると安心感もあります。

また蔵書の充実の部分でいくと、人であったり予算の部分に関係してくるので、どこまでこの会議で話をして良いものなのか。

○國頭館長：

冊数に関しては予算等の様々な制約がある中で、図書館としてもより良い学習であるとか、自由読書のニーズに応えられるものを揃えていきたいと思っています。

○細木部会長：

重点方針3:多様な子ども達への読書活動支援について、事務局から説明をお願いします。

○國頭館長：

(「重点方針3:多様な子ども達への読書活動支援について」の説明)

○細木部会長：

それでは多様な子ども達への読書活動支援について、ご意見をお伺いしたいと思います

六星会さんが点字本を作成しています。これは市立図書館にもあったと思います。

○國頭館長：

点字というのは点字のみで書かれているものですが、点訳本というものがあります。絵本に点訳シートを貼ることで読んでいただけるものになります。いずれも六星会さんのご協力により図書館に所蔵がございます。また最近の社会情勢として、日本語の指導が必要なお子様であったり、日本語を母語としない家庭のお子様であったり等様々いらっしゃる中で、そういった多言語に対応する資料というものも少しずつですが収集しております。

○中野委員：

子ども達への読書活動支援ということですが、子どもだけでなく大人も対象となるのでしょうか。

○國頭館長：

大活字図書といいまして、一般の書籍の文字よりも大きな字で書かれた本も図書館にはご用意がありますので、そういったものを使って読んでいただくことは大人の方もできます。こちらは子ども向けのものも最近増えています。小さな文字では見えにくい方については、そういう大きな文字で書かれた本をご用意させていただいて読書活動支援をしています。

○細木部会長:

重点方針4:地域の図書館の活用促進、子どもに本を届ける環境整備について、事務局から説明をお願いします。

○國頭館長:

(「重点方針4:地域の図書館の活用促進、子どもに本を届ける環境整備について」の説明)

○細木部会長:

地域の図書館の活用促進、子どもに本を届ける環境整備について、ご意見をお伺いしたいと思います

シュラホールの図書コーナーがとても綺麗になりました。トイレも綺麗で授乳室もできました。かわいい子ども達がいっぱい、親子で楽しんでいると思います。

○國頭館長:

図書館の方も耐震工事の関係でトイレ改修を行い綺麗になりました。「赤ちゃんの駅」として、授乳していただけるスペースを設けています。本を読もうと思って図書館に来たけれども十分な設備がないなどの不具合があると、気軽に来館しにくいと思います。ブックスタート事業開始に合わせて、1階エントランスホールの幼児コーナーを明るい雰囲気にして、利用者の方々にくつろいでいただけるようにと考えております。本を充実させるだけでなく、様々な面で来てもらいやすい、図書館にいて快適であると思ってもらえるよう、環境整備というのは順次行っていきたいと思っています。

○寺田委員:

出張図書館の具体的な曜日や時間帯はいつになりますか。

○國頭館長:

月2回水曜日にやっております。時間帯は市役所1階「ふらっと」では午後1時から午後1時45分まで、道明寺小学校旧正門奥では午後2時30分から午後3時15分まで、川北会館では午後4時から午後4時30分までとなっております。図書館ホームページやお電話にてご予約をしていただいた本について、こちらの3カ所の他、シュラホールでもお受け取りが可能となっており、ご自身が受け取りやすい場所を選んでもらうことができます。

○寺田委員:

受け取りがメインということですが、その辺りをもっと周知していただければ、より子ども達も本を借りやすいかなと思います。

○細木部会長:

重点方針5:インターネット、SNS、デジタル技術の活用について、事務局から説明をお願いします。

○國頭館長:

(「重点方針5:インターネット、SNS、デジタル技術の活用について」の説明)

○細木部会長:

インターネット、SNS、デジタル技術の活用について、ご意見をお伺いしたいと思います。小学生まではデジタルではなく、やはり紙の方がいいのではないかと思います。デジタルを見ると目が悪くなることがあります。紙の良さといいますか、紙の方がゆっくりと読むことができると思います。

○ウィリアムソンマシユージョン委員:

現在図書館が利用しているSNSはLINEだけだと思いますが、若い方はTikTokやユーチューブ、インスタグラム等を利用しています。特にインスタグラムは、近くのお店だったり、お祭りの情報が載っていたり、つながりが多いと思われます。図書館が綺麗になった等の情報はホームページにもありますが、ホームページは情報を探しにいかないといけない。SNSも悪い面があるのかもしれませんが、良いところは友達同士フォローし合って繋がり、情報が広がりやすいところです。子ども達はそちらの方が入りやすいのではないのでしょうか。

○國頭館長:

様々なSNSがある中で、一長一短があると思われます。どれが良いのか検討しながらやっていきたいと思います。

○細木部会長:

本日は貴重なご意見をありがとうございました。皆様よりいただいた提案は、今後の計画の策定に反映していただくようお願いします。次期計画がより良いものとなるよう、引き続き、お力添えをいただけると幸いです。お疲れ様でした。

○司会:

細木部会長、会議の進行をどうもありがとうございました。最後に次第の3今後の予定についてですが、11月頃の生涯学習審議会で、答申としての提言書の提出をお願いする予定です。11月までの間に、各委員の皆様には書面にて内容のご確認をお願いしたく存じます。その際のご意見につきましては、図書館にて書面または窓口やお電話にて承ります。計画の議決につきましては令和8年度末開催予定の生涯学習審議会にていただきたいと思います。と思っております。

それでは、以上をもちまして、令和8年度生涯学習審議会図書部会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

上会議録は、事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

藤井寺市生涯学習審議会図書館部会 会長

細木 紀美子

